

議事 2 新型コロナウイルス感染症がもたらした差別・人権侵害等について
(意見交換)

○各分野における状況

○今後の人権啓発に必要な点

○その他意見

<参考> 新型コロナウイルス感染症に関連する人権相談件数

<令和2年度>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人権相談件数 (全体)	19	19	15	8	6	10	17	11	14	18	8	15	160
うち新型コロナウイルス 関連相談件数	11	16	5	2	0	2	3	0	6	6	2	3	56
苦情・要望	5	7	3	2	0	1	1	0	4	3	1	0	27
差別的対応	4	5	2	0	0	1	0	0	0	1	1	2	16
心配事相談	2	4	0	0	0	0	2	0	2	2	0	1	13

<令和3年度>

(令和3年9月1日時点)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人権相談件数 (全体)	16	12	22	12	21	18							101
うち新型コロナウイルス 関連相談件数	2	2	2	3	7	8							24
苦情・要望	0	0	0	1	0	4							4
差別的対応	1	2	1	1	2	2							9
心配事相談	1	0	1	1	5	2							10

※これまでの相談事例

- ・感染者の出た医療機関に勤める職員の方が、子どもの通園を拒否された。
- ・感染していないにもかかわらず、家族から実家への訪問や法事への参列を拒否された。
- ・PCR検査を受けて、陰性であったにもかかわらず、陽性だとのうわさを流された。
- ・近所で、家族がクラスターで入院しているとのうわさを流された。
- ・完治したのにも関わらず、施設利用を拒否された。
- ・自治会からコロナ罹患について公表するよう、せまられた。
- ・ワクチンの接種を受けたくないが、職場での圧力を感じる。
- ・会社の上司から、「どこで感染したのか」、「なぜワクチン打たなかったのか」と執拗に聞かれた。